

プロジェクト紹介

遊佐町のインターシップを通じてまちの特徴を探す



2002年、本学と山形県遊佐町は、友好協力宣言に調印し、これまで遊佐町の行政評価の推進など、連携を深めてきました。

そしてこの夏、現代GPの各種プロジェクトに参加してきた学生が中心となり、あらたに遊佐町において、行政活動への具体的な協力活動とする、地域連携事業に取り組みました。

活動状況

フィールドワークは生の体験 = 調査(ワーク)を行う作業

経済学部 助教授 斎藤 友之



この夏、16名の学生とともにフィールドワークを山形県遊佐町において行いました。自分が調査として行うフィールドワークとは、だいぶ勝手が違いましたが、学生だけでなく私自身にとっても有意義なフィールドワークでした。そして、現地で追加された目的が、規則正しい生活習慣です。もしかしたら、これが最も学生たちにとって過酷なことだったに違いありません。

フィールドワークとは、フィールド(現場)に自らの身をおき、目で見、耳で聞き、手で触れ、肌で感じ、舌で味わった、生(なま)の体験 = 調査を行う作業(ワーク)です。いわゆる参与観察法とも呼びます。今回のフィールドワークは、純粋な調査手法としてではなく、行政のこと、地域のことを知り、その上で、町のUJIターンのチラシを作ることを最終目標として実施しました。これがフィールドワークの成果目標です。

UJIターンのチラシ作りは、学生たちのさまざまな体験を通じて集められた町の情報をもとに現在進められています。単なるレポートづくりとは異なり、自分たちの足で稼いだ情報に加えて、センスも要求されます。学生一人ひとりの活動 = 体験とそこから得られる情報はきわめて重要な意味を持ちます。さらに、みんなの真摯な協議も必要となります。その点では、自発的な会議や調査など、前向きな姿勢が生まれてきています。クラス作りも含めて大きな成果が感じられるフィールドワークとなりました。

こうした企画が成立した背景には、ひとえに遊佐町の全面的な協力があればこそでした。小野寺喜一郎町長はじめ多くの職員の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。また、ツアーを支援する町民の方のなにくれとない暖かい触れ合いにもお礼申し上げます。フィールドワーカーは、「よそ者」です。そのよそ者たちを、「深い心で受け入れて下さった姿は、雄大な鳥海山にも似ている。」と、喩えたのは、ほかならぬ学生たち自身であったことを申し添えておきます。



フィールドワーク 遊佐 活動日誌

8月28日(月)～9月4日(月)

8/28	遊佐町到着
8/29	町内めぐり 役場内見学と事業説明、 町長講話 (ふらっと、牛渡川、胴腹滝、 語り部等)
8/30	UJIターン啓発パンフレット作成 鳥海ツアー準備 ふらっと業務(調理・販売)
8/31	UJIターン啓発パンフレット作成 鳥海ツアー準備 ふらっと業務(調理・販売)
9/1	UJIターン啓発パンフレット作成 鳥海ツアー会場等準備 ふらっと業務(調理・販売)
9/2	鳥海ツアー参加 (会場内ゴミ分別収集・駐車場係) ふらっと業務(調理・販売)
9/3	鳥海ツアー参加 (会場内ゴミ分別収集・駐車場係) ふらっと業務(調理・販売)
9/4	帰宅

山形県遊佐町でのフィールドワーク

遊佐町で学んだこと ー学生の声ー

最初は「なにもない」町だと思っていました。しかし、この町には「人を感動させられる美しい風景」があり、「少し人見知りだけど、実はみんな優しく気さくな人たちがたくさんおられました。そしてなにより「心に染み渡る、とても優しいあたたかさ」がありました。

経済学部2年 二井 英淑



交通が不便で、電車も二時間に一本とかしかかないことを利用して、駅前などでその待ち時間を観光客の人たちが、有効に使えたらいいのではないかと思います。

経済学部2年 清水 優也



地域を調査して形に表すことの難しさを体感できましたが、一番の成長を感じられる部分は自分の感性を素直に表現して、他人にうまく伝えるということです。

経済学部2年 熊田 雄二



最後まであきらめないでやりきれば結果はどうあれ無駄ではない、一生懸命とりくめばそれなりに得るものは大きいということを学びました。

経済学部2年 杉田樹美洋



遊佐町の方々にインタビュー



遊佐町役場
総務企画課
齋藤 浩一さん

学生16名ともそれぞれの担当業務で頑張っていたが、業務によっては町民や関係機関に取材を行ったりするなど、積極的に活動しておりました。日が経つごとに学生の皆さんの表情も明るくなり、業務にも張り合いが出てきたようでした。鳥海ツーデーマーチでは20 kmか25 kmのどちらかを歩いてもらい、自然豊かな遊佐町を感じてくれたことと思います。この遊佐町で過ごした1週間を大切にしたいと思います。



遊佐町役場
商工観光課
村井 仁さん

若い感性を町政運営に取り入れようと、町では平成16年度から、公選による「少年町長、少年議会」の事業に取り組んでいます。この事業は、中高校生のまちづくりのアイデアに実際に予算をつけその具体化を進めるものです。この延長線上に日本福祉大学のインターンシップを位置づけていますが、このポイントは、全国各地の出身者の大学生の意見を取り入れるということ

にあると考えています。今回のUJIターンの広告媒体作成については、特にそうした面で町にとっても有益であったと評価しています。引き続き、大学との相互関係を深めていきたいと考えています。



鳥海山のふもとから



山形県遊佐町。ゆざまち。同町内の縄文遺跡からは青銅刀が発見され、紀元前からの大陸との交渉史を物語っています。また「遊佐」の名は、古代の「駅」名に由来する歴史を持っています。東北を代表する名山、鳥海山の東に展開して、北は秋田県、南は酒田市に接し、西は日本海に面しています。良好な海岸風景をもつ海岸部、米どころ庄内の内陸部、そして鳥海山麓の山間部と多様な風景を見せる人口2万余の町です。

遊佐町物産紹介



編かきもち



鳥海清流遊佐のニジマス甘露煮



大吟醸藤岡延年の舞

遊佐町 HP より引用 : <http://www.town.yuza.yamagata.jp/>